

四半期報告書

(金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく報告書)

事業年度 自 平成21年8月1日
(第11期第3四半期) 至 平成21年10月31日

株式会社SUMCO

東京都港区芝浦一丁目2番1号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2
第2 事業の状況	3
1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態及び経営成績の分析	4
第3 設備の状況	6
第4 提出会社の状況	7
1 株式等の状況	7
(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) ライツプランの内容	7
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8
2 株価の推移	8
3 役員の状況	9
第5 経理の状況	10
1 四半期連結財務諸表	11
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
2 その他	21
第二部 提出会社の保証会社等の情報	22

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年12月15日
【四半期会計期間】	第11期第3四半期（自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日）
【会社名】	株式会社SUMCO
【英訳名】	SUMCO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役 田口 洋一
【本店の所在の場所】	東京都港区芝浦一丁目2番1号
【電話番号】	03-5444-0808
【事務連絡者氏名】	経理部長 大磯 健二
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝浦一丁目2番1号
【電話番号】	03-5444-0808
【事務連絡者氏名】	経理部長 大磯 健二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第11期 第3四半期連結 累計期間	第11期 第3四半期連結 会計期間	第10期
会計期間	自平成21年 2月1日 至平成21年 10月31日	自平成21年 8月1日 至平成21年 10月31日	自平成20年 2月1日 至平成21年 1月31日
売上高（百万円）	156,712	60,935	391,928
経常損益（百万円）	△87,150	△25,948	39,371
四半期（当期）純損益（百万円）	△71,612	△18,691	18,886
純資産額（百万円）	—	312,732	389,521
総資産額（百万円）	—	720,137	733,897
1株当たり純資産額（円）	—	1,133.08	1,419.24
1株当たり四半期（当期）純損益 金額（円）	△277.84	△72.52	74.36
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	—	40.6	49.8
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,044	—	93,334
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△68,315	—	△147,584
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	113,951	—	51,211
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	—	97,524	52,955
従業員数（人）	—	9,652	9,629

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 損益金額の△は損失を示しております。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であるSUMCO USA Sales Corporationは、当社の特定子会社であるSUMCO Phoenix Corporationへ吸収合併され、消滅いたしました。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数（人）	9,652
---------	-------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外部への出向者を除き、グループ外部から当社グループへの出向者を含むほか、常用パートを含む。）であり、臨時雇用者数（人材派遣会社からの派遣社員は含み、常用パートは除く。）は、総従業員数の100分の10未満であるため、記載を省略しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数（人）	4,951
---------	-------

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含むほか、常用パートを含む。）であり、臨時雇用者数（人材派遣会社からの派遣社員は含み、常用パートは除く。）は、総従業員数の100分の10未満であるため、記載を省略しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当社グループの事業の種類別セグメントは、「高純度シリコン」のみの単一セグメントであり、事業部門は「半導体用シリコンウェーハ事業部門」及び太陽電池用シリコンウェーハと高純度石英ルツボの製造及び販売を行う「その他事業部門」に分かれております。

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を事業部門毎に示すと、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
	金額(百万円)
半導体用シリコンウェーハ	64,866
その他	6,028
合計	70,894

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループの生産及び販売製品は、大半が受注生産形態をとらないため、受注規模を金額あるいは数量で示すことはしておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業部門毎に示すと、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
	金額(百万円)
半導体用シリコンウェーハ	56,426
その他	4,509
合計	60,935

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)
住友商事株式会社	8,341	13.7
日本サムスン株式会社	8,223	13.5

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態及び経営成績の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間における半導体市場は、パソコン、携帯電話、液晶テレビ向けなどを中心に、需要が回復してまいりました。

当社グループの業績は、半導体用シリコンウェーハ市場の需要は回復基調にありますが、価格低迷等を主要因として、収益の面で依然として厳しい状況にあります。また、太陽電池用シリコンウェーハ市場は、一部に需要回復の兆しはあるものの、引き続き厳しい状況にあります。

このような業況のもと、当社グループは、設備投資の圧縮、操業体制の見直し、労務費・諸経費削減等の経営施策を推し進めております。加えて、小径ウェーハ生産体制の再編を中心とした事業構造再編プランを鋭意推進し、より強靱な企業体質を構築することにより、収益力の回復に取り組んでおります。

上記の事業活動の結果、当第3四半期連結会計期間における当社グループの業績は、売上高は60,935百万円、営業損失は18,089百万円、経常損失は25,948百万円、四半期純損失は18,691百万円となりました。

事業の種類別セグメント

当社グループの事業の種類別セグメントは、「高純度シリコン」のみの単一セグメントのため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

国内におきましては、半導体需要が春先から回復基調に転じたものの、半導体用シリコンウェーハの価格低迷等を主要因として、依然として厳しい経営環境にあり、売上高は67,851百万円、営業損失は14,433百万円となりました。

②北米

北米におきましても、半導体需要が春先から回復基調に転じたものの、半導体用シリコンウェーハの価格低迷等を主要因として、依然として厳しい経営環境にあり、売上高は9,555百万円、営業損失は127百万円となりました。

③アジア

アジアにおきましても、半導体需要が春先から回復基調に転じたものの、半導体用シリコンウェーハの価格低迷等を主要因として、依然として厳しい経営環境にあり、売上高は8,940百万円、営業損失は1,479百万円となりました。

④欧州

欧州におきましては、半導体需要が春先から回復基調に転じたため、売上高は4,070百万円、営業利益は44百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前四半期連結会計期間末に比べ11,254百万円増加し、97,524百万円となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローが1,568百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△11,440百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが21,307百万円となったこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1,568百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が△26,489百万円、減価償却費が31,723百万円、売上債権の増加及び仕入債務の増加による影響が△2,914百万円だったことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△11,440百万円となりました。これは有形・無形固定資産の取得による支出が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは21,307百万円となりました。これは長期借入金が増加したことによる収入が主な要因であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

前連結会計年度末に掲げた諸課題に加え、「事業構造再編プラン骨子」に基づき、黒字化に向け事業構造の再編計画を推進してまいります。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における研究開発費の総額は、1,911百万円であり、連結売上高の3.1%であります。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、改修等について、重要な変更はありません。

ただし、半導体用300mmウェーハ生産設備の新設計画については、現在の需要動向等を勘案して凍結しており、完了予定時期は未定であります。

なお、「事業構造再編プラン骨子」に基づく米国子会社の小径ウェーハ工場の閉鎖決定に伴い、固定資産の廃却予定額を特別損失に見積り計上いたしました。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	804,000,000
計	804,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数（株） （平成21年10月31日）	提出日現在発行数（株） （平成21年12月15日）	上場金融商品取引所名	内容
普通株式	257,751,739	257,751,739	株式会社東京証券取引所 （市場第一部）	単元株式数 100株
計	257,751,739	257,751,739	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 （株）	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額 （百万円）	資本金残高 （百万円）	資本準備金増減額 （百万円）	資本準備金残高 （百万円）
平成21年8月1日～ 平成21年10月31日	—	257,751,739	—	114,107	—	86,046

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年7月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成21年10月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 3,500	—	単元株式数100株
完全議決権株式（その他）	普通株式 257,627,300	2,576,271	同上
単元未満株式	普通株式 120,939	—	同上
発行済株式総数	257,751,739	—	—
総株主の議決権	—	2,576,271	—

- (注) 1. 「完全議決権株式（その他）」の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。但し、これらの株式に係る議決権の個数（2個）は、「議決権の数」欄に含まれていません。
2. 「単元未満株式」の普通株式には、当社名義の株式が25株含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（%）
(株)SUMCO	東京都港区芝浦一丁目2 番1号	3,500	—	3,500	0.00
計	—	3,500	—	3,500	0.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
最高（円）	1,356	1,678	1,525	1,641	1,432	1,796	1,915	2,295	2,080
最低（円）	1,085	1,082	1,294	1,409	1,257	1,311	1,702	1,906	1,683

(注) 最高・最低株価は、株式会社東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員 の 状 況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員 の 異 動 は、次 の と お り で あ り ま す。

(1) 退 任 役 員

役 名	職 名	氏 名	退 任 年 月 日
代 表 取 締 役	取 締 役 社 長	重 松 健 二 郎	平 成 21 年 5 月 29 日

(2) 役 職 の 異 動

新 役 名	新 職 名	旧 役 名	旧 職 名	氏 名	異 動 年 月 日
代 表 取 締 役	取 締 役 社 長	代 表 取 締 役	副 社 長	田 口 洋 一	平 成 21 年 5 月 29 日

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、第1四半期連結会計期間（平成21年2月1日から平成21年4月30日まで）より、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年2月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、有限責任監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって監査法人トーマツから名称変更しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,524	53,955
受取手形及び売掛金	46,657	45,614
商品及び製品	16,760	20,775
仕掛品	18,032	17,696
原材料及び貯蔵品	42,958	45,072
その他	13,106	19,948
貸倒引当金	△2,017	△3,134
流動資産合計	233,022	199,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	134,030	125,598
機械装置及び運搬具（純額）	195,060	195,461
土地	20,575	20,574
建設仮勘定	18,705	92,869
その他（純額）	2,378	2,836
有形固定資産合計	* 370,750	* 437,339
無形固定資産		
のれん	38,038	40,315
その他	7,080	7,130
無形固定資産合計	45,118	47,445
投資その他の資産		
投資有価証券	1,752	845
その他	71,051	48,338
貸倒引当金	△1,558	△1
投資その他の資産合計	71,245	49,183
固定資産合計	487,115	533,968
資産合計	720,137	733,897

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,452	32,908
短期借入金	103,123	106,112
未払法人税等	341	4,048
引当金	6,210	5,041
その他	28,871	63,832
流動負債合計	161,998	211,944
固定負債		
長期借入金	181,634	97,520
退職給付引当金	17,608	16,555
その他の引当金	66	280
その他	46,096	18,075
固定負債合計	245,405	132,431
負債合計	407,404	344,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,107	114,107
資本剰余金	89,291	89,291
利益剰余金	96,351	171,186
自己株式	△7	△6
株主資本合計	299,743	374,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	543	△7
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	2,252	2,252
為替換算調整勘定	△10,490	△11,014
評価・換算差額等合計	△7,694	△8,770
少数株主持分	20,684	23,713
純資産合計	312,732	389,521
負債純資産合計	720,137	733,897

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年2月1日
至 平成21年10月31日)

売上高	156,712
売上原価	200,519
売上総損失(△)	△43,806
販売費及び一般管理費	※1 23,115
営業損失(△)	△66,921
営業外収益	
受取利息	85
受取配当金	21
為替差益	280
助成金収入	951
その他	467
営業外収益合計	1,805
営業外費用	
支払利息	3,163
減価償却費	※2 17,639
その他	1,231
営業外費用合計	22,034
経常損失(△)	△87,150
特別損失	
事業構造改善費用	※3 3,237
特別損失合計	3,237
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,387
法人税等	※4 △16,430
少数株主損失(△)	△2,345
四半期純損失(△)	△71,612

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

		当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
売上高		60,935
売上原価		71,401
売上総損失(△)		△10,466
販売費及び一般管理費	※1	7,622
営業損失(△)		△18,089
営業外収益		
受取利息		25
受取配当金		0
助成金収入		526
その他		24
営業外収益合計		576
営業外費用		
支払利息		1,205
減価償却費	※2	6,426
為替差損		55
その他		748
営業外費用合計		8,435
経常損失(△)		△25,948
特別損失		
事業構造改善費用	※3	540
特別損失合計		540
税金等調整前四半期純損失(△)		△26,489
法人税等	※4	△7,138
少数株主損失(△)		△659
四半期純損失(△)		△18,691

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成21年2月1日
 至 平成21年10月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△90,387
減価償却費	90,785
のれん償却額	2,277
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	479
受取利息及び受取配当金	△106
支払利息	3,163
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,815
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,901
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,271
その他	6,779
小計	6,806
利息及び配当金の受取額	106
利息の支払額	△3,336
法人税等の支払額	△4,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△69,176
その他	860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,738
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△8,000
長期借入れによる収入	134,500
長期借入金の返済による支出	△49,000
セール・アンド・リースバック取引による収入	43,100
配当金の支払額	△3,221
少数株主への配当金の支払額	△1,006
その他	△6,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	44,568
現金及び現金同等物の期首残高	52,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 97,524

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年2月1日
至 平成21年10月31日)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、法人税法の改正に伴い見直しを行い、第1四半期連結会計期間より変更致しました。

この結果、従来の方法によった場合と比べて当第3四半期連結累計期間の営業損失は9,716百万円、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は14,755百万円、それぞれ増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末 (平成21年1月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、671,371百万円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、585,050百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年10月31日)						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">5,391百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給与手当及び賞与</td> <td style="text-align: right;">4,473</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">524</td> </tr> </table>	研究開発費	5,391百万円	給与手当及び賞与	4,473	貸倒引当金繰入額	524
研究開発費	5,391百万円					
給与手当及び賞与	4,473					
貸倒引当金繰入額	524					
<p>※2. 300mmウェーハ製造設備を中心に、稼働可能状態にあるものの稼働には至っていない機械装置について、償却をしたものであります。</p>						
<p>※3. 事業構造改善費用 主に、「事業構造再編プラン骨子」に基づく米国子会社の小径ウェーハ工場の閉鎖決定に伴い、固定資産の廃却予定額を見積り計上したものであります。</p>						
<p>※4. 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。</p>						

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)						
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">1,911百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給与手当及び賞与</td> <td style="text-align: right;">1,399</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">14</td> </tr> </table>	研究開発費	1,911百万円	給与手当及び賞与	1,399	貸倒引当金繰入額	14
研究開発費	1,911百万円					
給与手当及び賞与	1,399					
貸倒引当金繰入額	14					
<p>※2. 300mmウェーハ製造設備を中心に、稼働可能状態にあるものの稼働には至っていない機械装置について、償却をしたものであります。</p>						
<p>※3. 事業構造改善費用 主に、「事業構造再編プラン骨子」に基づく米国子会社の小径ウェーハ工場の閉鎖決定に伴い、固定資産の廃却予定額を見積り計上したものであります。</p>						
<p>※4. 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。</p>						

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年2月1日
至 平成21年10月31日)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借
対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成21年10月31日現在)

現金及び預金勘定	97,524百万円
現金及び現金同等物	97,524

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年10月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月1日 至 平成21年10月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 257,751千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 3千株

3. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年4月28日 定時株主総会	普通株式	3,221	12.50	平成21年1月31日	平成21年4月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)において、当社グループの事業は「高純度シリコン」のみの単一セグメントであるため、事業の種類別セグメントの記載は省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	42,585	6,833	7,446	4,070	60,935	—	60,935
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,266	2,721	1,493	0	29,481	△29,481	—
計	67,851	9,555	8,940	4,070	90,417	△29,481	60,935
営業利益(又は営業損失(△))	△14,433	△127	△1,479	44	△15,995	△2,093	△18,089

当第3四半期連結累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	110,953	18,502	18,135	9,121	156,712	—	156,712
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	63,236	6,665	3,638	23	73,563	△73,563	—
計	174,190	25,168	21,773	9,144	230,276	△73,563	156,712
営業利益(又は営業損失(△))	△53,851	△4,300	△4,598	△24	△62,775	△4,145	△66,921

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 米国
- (2) アジア インドネシア、シンガポール、台湾
- (3) 欧州 英国、ベルギー

なお、SUMCO TECHXIV EUROPE N.V. (ベルギー)は清算中のため、現在、営業活動を行っておりません。

3. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、法人税法の改正に伴い見直しを行い、第1四半期連結会計期間より変更致しました。この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の日本の営業損失は9,716百万円増加しております。なお、日本以外についてはセグメント情報に与える影響はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日）

	北米	アジア	欧州他	計
I 海外売上高（百万円）	8,779	23,803	4,876	37,459
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	60,935
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.4	39.1	8.0	61.5

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年2月1日 至 平成21年10月31日）

	北米	アジア	欧州他	計
I 海外売上高（百万円）	23,341	57,415	12,747	93,505
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	156,712
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.9	36.6	8.2	59.7

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。

（1）北米 米国他

（2）アジア 韓国、シンガポール、台湾、中国、マレーシア他

（3）欧州他 アイルランド、イスラエル、イタリア、ドイツ、フランス他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末 (平成21年1月31日)
1株当たり純資産額 1,133.08円	1株当たり純資産額 1,419.24円

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
1株当たり四半期純損失金額(△) △277.84円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額(△) △72.52円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
四半期純損失(△)(百万円)	△71,612	△18,691
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失(△)(百万円)	△71,612	△18,691
期中平均株式数(株)	257,748,277	257,748,036

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

平成21年12月 7日

株式会社SUMCO

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

市川 育義

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

山本 哲生

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社SUMCOの平成21年2月1日から平成22年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年2月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社SUMCO及び連結子会社の平成21年10月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。